

市域の温室効果ガス排出量について

(最新年度:令和2年度)

# 市域の温室効果ガス排出量削減目標

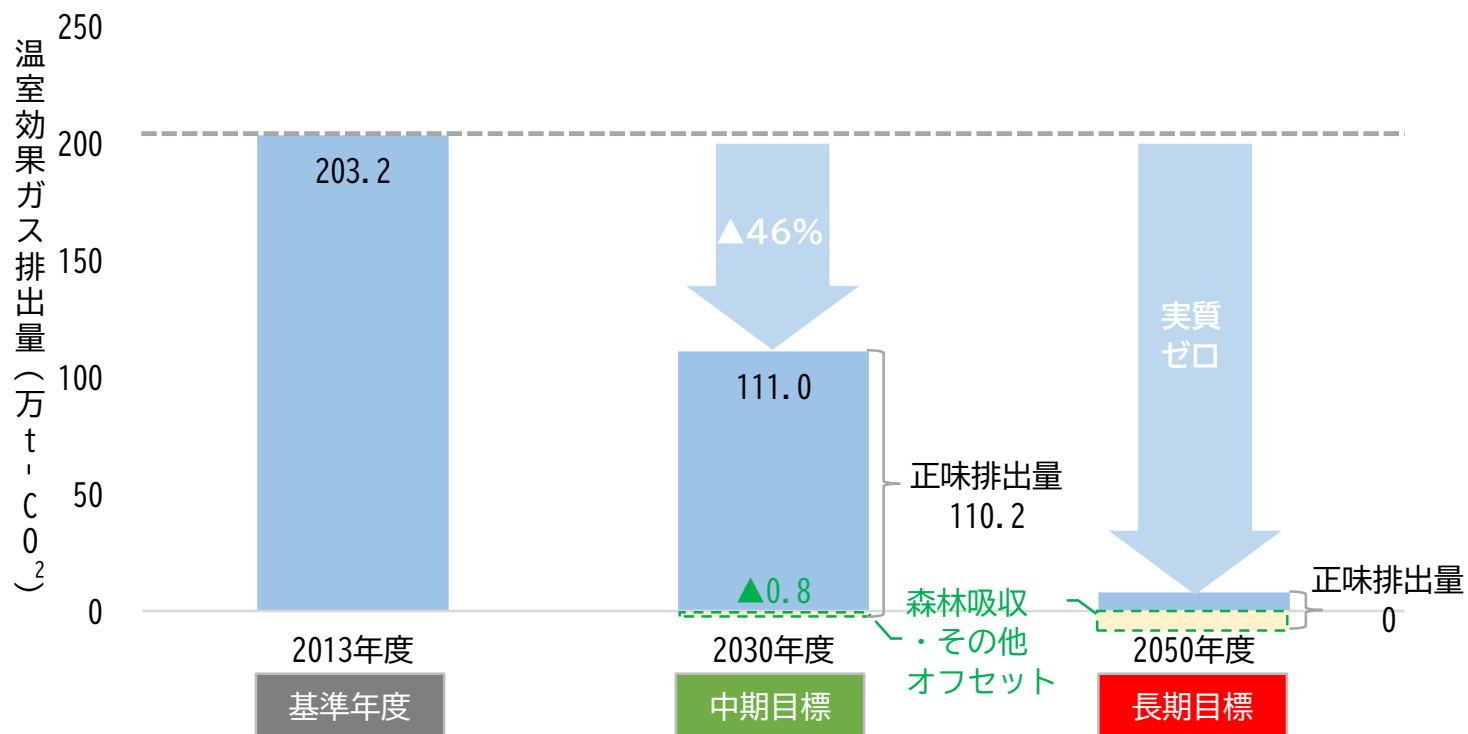
## 計画期間・目標年度

### ■中期目標

2030年度における温室効果ガス排出量（森林吸収・その他オフセットを考慮した正味排出量）を、**2013年度比で46%**削減する。

### ■長期目標

2050年度における温室効果ガス排出量（森林吸収・その他オフセットを考慮した正味排出量）を、**実質ゼロ**とする。



# 削減目標の詳細

- 温室効果ガス排出量の部門別の削減目標の詳細は、次のとおり。  
(万t-CO<sub>2</sub>)

	2013年度 (基準年度)	2030年度排出量 (目標値)	削減量	削減率
二酸化炭素排出量	196.2	105.0	▲ 91.2	▲ 46%
産業部門	34.1	18.0	▲ 16.1	▲ 47%
民生家庭部門	62.4	27.0	▲ 35.4	▲ 57%
民生業務部門	33.3	13.0	▲ 20.3	▲ 61%
運輸部門	61.5	45.0	▲ 16.5	▲ 27%
廃棄物部門	4.9	2.0	▲ 2.9	▲ 60%
その他ガス	7.0	6.0	▲ 1.0	▲ 14%
温室効果ガス排出量	203.2	111.0	▲ 92.2	▲ 45%
森林吸収量	0.0	▲ 0.8	▲ 0.8	-
正味排出量	203.2	110.2	▲ 93.0	▲ 46%

# 最新年度（2020年度）の排出量

- 最新年度（2020年度）の温室効果ガス排出量は、次のとおり。  
(万t-CO<sub>2</sub>)

	2013年度 排出量	2019年度 排出量	2020年度（最新）		
			排出量	CO <sub>2</sub> 割合	削減率 基準年度比
二酸化炭素排出量	196.2	168.0	163.1	100%	▲ 17%
産業部門	34.1	24.1	24.0	14.7%	▲ 30%
民生家庭部門	62.4	53.2	55.4	34.0%	▲ 11%
民生業務部門	33.3	29.2	27.1	16.6%	▲ 18%
運輸部門	61.5	56.0	51.3	31.4%	▲ 17%
廃棄物部門	4.9	5.5	5.3	3.2%	▲ 7%
その他ガス	7.0	6.3	6.4	—	▲ 9%
温室効果ガス排出量	203.2	174.4	169.5	—	▲ 17%
森林吸収量	0.0	▲ 0.8	▲ 0.7	—	—
<b>正味排出量</b>	203.2	173.6	<b>168.8</b>	—	<b>▲ 17%</b>

# 温室効果ガス排出量の推移

(万t-CO<sub>2</sub>)

250.0

200.0

150.0

100.0

50.0

0.0

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2030  
(年度)

203.2

193.7

191.9

190.5

186.5

183.2

173.6

168.8

110.2

基準  
年度

目標  
年度

基準年度から  
▲34.3 万t-CO<sub>2</sub>  
17%削減

基準年度から  
▲93.0 万t-CO<sub>2</sub>  
46%削減

# 二酸化炭素排出量の内訳

(万t-CO<sub>2</sub>)

250.0

200.0

150.0

100.0

50.0

0.0

基準  
年度

## 前年度との比較

- ・ 民生家庭部門が2.2万t-CO<sub>2</sub>増加
- ・ 運輸部門が4.7万t-CO<sub>2</sub>減少
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭で過ごす時間が増え、人の移動の制限されたことが要因と考えられる。

34.1

62.4

33.3

61.5

4.9

2013

31.0

60.9

31.7

58.7

5.7

2014

27.8

61.5

30.8

59.3

5.2

2015

26.7

63.7

31.2

58.5

4.9

2016

27.3

59.0

31.2

58.6

4.9

2017

26.0

58.2

30.0

57.1

6.1

2018

24.1

53.2

29.2

56.0

5.5

2019

24.0

55.4

27.1

51.3

5.3

2020

目標  
年度

18.0

27.0

13.0

45.0

2.0

2030

産業部門

民生家庭部門

民生業務部門

運輸部門

廃棄物部門

(年度)